

中間支援活動助成(創設)事業実績報告

団体名	特定非営利活動法人 地域チャレンジセンター・プラス	代表者名	代表理事 大島 一晃
事業名	北神区初の中間支援組織設立事業 (2年目)		

< 事業実施実績 >

	相談業務 延べ回数/団体数	ネットワークの構 築・情報提供 件数	人材育成 (講座開設等) 延べ参加人数/回数	書類作成 指導 件数	その他 調査研究等 件数	支援・指 導・連携 件数
R5 計画	-	1 回	2 回	-	-	
R5 実績	28 回/9 団体	1 回	15 人 / 2 回	8 件	1 件	3 団体

< 効果と成果 >

当団体は、NPO支援や広報コンサルタントなどの専門家に加え、北神地域で活動する介護事業所や地域密着型の鍼灸院などの事業者、外国人支援や子育て・母親支援に関心あるメンバーで立ち上げた中間支援団体であり、メンバーの多様性と視点の多角性に基づく支援機能については強みであると感じている。NPO法人化1年目として、多様な企画を提案していったものの、新たな顧客獲得や地域人材の掘り起こしについては、1年間では数えられる成果はほとんど出ていないが、地域ごとのキーパーソンが見えつつあり、さまざまな意欲的な人たちとつながりをもつことができたと実感している。

当地はニュータウンと農村地域が混在しており、ニュータウンにおいては、ふれあいのまちづくり協議会などの制度疲労に加え、第1世代の高齢化やPTAなどでのまちの担い手が不足している。ボランティアなど参加の多様な形を地域に提案するなど、「旗を立てる」取り組みを進めていきたい。

< 連携と協働の成果 >

地域のキーパーソンに出会う会では、地域の取り組みを聞くだけでなく、その地域がなぜ事業が拡大できるのか、その要因を参加者同士で深掘りする話し合いを行った結果、お互いの理解が深まり、事業終了後に参加者同士で新たな連携が始まる場面も見られた。このような、参加者同士の「意欲」が促進されるような場づくりを通して、自発的な動きを今後も促進していきたい。

また、神戸市北区社会福祉協議会(北神事務所)と連携し、地域団体についての情報交換を行ってきた。北区社協も、こどもの居場所補助金採択団体の情報しかテーマ型団体とのつながりがなく、北神地域での活動団体同士のつながりがこれまでなかった状態だった。当団体が社協などと連携しながら、少しずつネットワークづくりに取り組んでいきたい。

<今後の展望>

神戸市北区北神地域は、人口10万人強が住むニュータウンおよび農村地であるが、これまでテーマ型活動団体や地域団体の顔が見えず、市民活動が活発とはいえないエリアであった。当団体が「旗を立てる」ことによって興味・関心をもつ人が徐々に見えつつあり、そのような「ひとりの人」とつながりながらその人の思いを実現していく支援に取り組み始めている。例えば、淡河・大沢・八多・道場など旧村地域は高齢化・人口減の波があるものの、地域活性のため若手住民が活躍することが見えつつあるとのことである。このような方々をつなぎ、思いを寄せ会える場を作ることによって、新たな化学変化を生みだしていきたい。

そのような多様な立場がごちゃまぜになってわちゃわちゃと取り組む部分から価値が生まれるものと信じて取り組んでいる。法人化したことでより多様なメンバーの参画を促し、多様なわちゃわちゃが生まれる場づくりに取り組みたい。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
参加費	13,000
自己資金	56,321
合計	569,321

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金 (円)
直接 経費	人件費	352,000	314,000
	通信運搬費	50,158	50,000
	謝金 * 外部対象	45,000	45,000
	その他 (印刷費等)	92,233	81,000
	小 計	539,391	490,000
	間接経費 (一般管理費)	29,930	10,000
	合 計	569,321	500,000